

平成 22 年度 川崎市国際交流センター 事業報告書

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

<情報資料収集・提供及び広報出版事業>

■ 図書・資料室の運営

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

- (1) 利用時間 午前 10 時～午後 8 時 (開館日)
- (2) 利用対象 小学校高学年以上
- (3) 複写 1 枚 10 円 (資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。)
- (4) 閲覧等 閲覧利用とし、学校等公的団体への貸出しを行った。
- (5) 利用者数 12,837 人
- (6) 閲覧件数 図書等 (2,550 件) ビデオ (356 件) CD (30 件) DVD (27 件)
- (7) 閲覧図書上位 1. 辞書・辞典・事典 2. 語学学習図書 3. 児童向け図書
4. 世界関連図書 5. 日本関連図書
- (8) 蔵書数

書 籍	13,816 冊 和図書 11,492 冊 外国語図書 2,324 冊
新 聞 (日刊・週刊など)	22 紙 英語 1 紙 韓国・朝鮮語 1 紙 中国語 4 紙 ポルトガル語 1 紙 スペイン語 1 紙 日本語 11 紙 フィリピン語 1 紙 日本語 / 中国語 1 紙 日本語 / フランス語 1 紙
情 報 誌	87 誌 和雑誌 56 誌 外国語雑誌 12 誌 在日外国人向け生活情報誌 23 誌
ビデオテープ	474 巻
新聞スクラップ	98 タイトル 390 ファイル

(平成 23 年 3 月末現在)

(9) 資料の分類

一般図書 (和書・ 海外図書)	国際交流・ 国際関係	000 国際交流 010 戦争と平和 020 人権問題 030 開発援助 040 地球環境問題	050 在日外国人問題 060 日本人(海外生活) 070 語学学習 080 国際関係 090 その他
	各国別図書	100 日本 200 アジア 300 ヨーロッパ 400 アフリカ	500 北米 600 中南米 700 オセアニア 800 世界
	その他図書	900 参考図書 910 辞書・辞典・事典 920 便覧・ハンドブック 930 名簿・ダイレクトリー	940 年鑑・白書 950 法令集 960 地図 990 児童向け図書
雑 誌	和雑誌・外国語雑誌		
新 聞	日本・海外		
ビデオ/DVD	日本紹介・海外紹介など		
C D	語学学習		
そ の 他	各都道府県交流協会情報紙・NGOニューズレター・ 各国大使館、観光局資料・新聞スクラップ		

(10) 各国語の新聞リスト

新 聞 名	言 語	頻 度	出 版 地
INTERNATIONAL PRESS	ポルトガル語	週刊	日本
INTERNATIONAL PRESS	スペイン語	週刊	日本
THE JAPAN TIMES	英語	日刊	日本
人民日報(海外版)	中国語	日刊	中国
中日新報	日本語/中国語	月刊	日本
大富報	中国語	隔週刊	日本
留学生新聞	中国語	隔週刊	日本
日中新聞	中国語	週刊	日本
日中新聞	日本語	週刊	日本
中国巨龍	日本語	週刊	日本
東亜日報	韓国・朝鮮語	日刊	日本
東洋経済日報	日本語	週刊	日本
民団新聞	日本語	週刊	日本
PINOY GAZETTE	フィリピン語	隔週刊	日本
OVNI	フランス語/日本語	隔週刊	フランス

※中国語新聞の多くは寄贈によるもの

(平成23年3月末現在)

■情報ロビー等の運営

国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

(1) 外国人への情報提供（情報ロビー）

外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。

(2) 姉妹・友好都市の紹介（ギャラリー）

姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。

(3) 国際交流に関わる情報提供（談話ロビー、プロムナード）

国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。

(4) 国際交流に関わる情報交換（談話ロビー）

市民や外国人市民、団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。

(5) 各国紹介パネルの展示（プロムナード）

在日大使館などから提供されたポスターをパネルとしてプロムナードに掲出し、紹介するとともに、センターの国際的な環境づくりを行った。

■情報ロビーでの展示

国際交流の拠点として、来館者が気軽に世界各国の文化や、国際交流の写真や絵画などに触れられるよう、無料で展示を行った。

	展 示 内 容	主 催 団 体 等	展 示 期 間
1	エチオピア児童原画展	日本エチオピア協会	10/27～11/29
2	ブレイク・ロイド・パザージュ商店街交流写真展	元住吉・ブレイク商店街振興組合	11/30～ 1/10
3	JICA ボランティアパネル展	(社)青年海外協力隊	1/14～ 2/14
4	南極ってどんなところ？ ～地球の未来を考えよう～	かわさき国際交流民間団体協議会	2/15～ 3/ 5
5	モルディブ 栄養と環境教育	(財)日本ユニセフ協会	3/ 7～ 3/14

■センターホームページ等の運営

国際交流センターのホームページならびに館内のインターネットを通じて、各種の情報提供を行った。

(1) ホームページの運営

国際交流センターの専用ホームページを通じて、センター施設の紹介及びセンター事業の広報ならびに情報提供を行った。また、ホームページの迅速な更新を行った。

(アクセス件数) 53,445件 (146アクセス/日)

(更新数) 702回

(URL) <http://www.kian.or.jp/kic/>

(2) インターネット用パソコンの設置

インターネット接続のパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

(利用時間) 午前9時30分～午後8時00分 (休館日を除く)

(利用内容) インターネットの閲覧のみ

(利用料) 無料。1回あたり30分まで (利用件数) 1,266件

■国際交流センターだより等の発行

1 「国際交流センターだより」の発行

(目的) 国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催し物や講座、施設についての情報をニュースレター形式で発信した。

(発行) 年間11回 (月刊。但し、7・8月号は合併号とした。)

(部数) 4,000部/回

(内容) ○月間の行事予定 ○講座及び行事の募集 ○図書・資料室の注目新書紹介
○施設点検日のお知らせ ○その他

(配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、川崎市内小学校、中原区住吉地区町内会に回覧、その他関係機関など

2 かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

(目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。

(発行) 年4回 (季刊)

(発行部数) 4,000部/回

(編集等) 協会所属のボランティアが編集、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。

(配布先) 各区役所、市民館、図書館などの公共施設、市内小中学校、高校、大学等、ボランティア、関係団体等

〈研修事業〉

■日本語講座

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催

(開催講座)

○午前コース (10:00~12:00) 年間3期、週2回 (火、金)、保育を実施

1学期: 4/27~7/13 (22回)、2学期: 9/17~12/3 (22回)、3学期: 1/11~3/11 (17回)

○夜間コース (18:30~20:30) 年間3期、週1回 (水)

1学期: 4/14~7/14 (12回)、2学期: 9/1~12/15 (15回)、3学期: 1/12~3/9 (9回)

(講師) 協会登録の日本語ボランティア講師

(場所) 川崎市国際交流センター・会議室

(受講者数) 延べ 405名 (41の国・地域)

(2) 特別講座等の開催

受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

①市内見学 平和館・川崎市民ミュージアム (6/8) 外国人47名

②手芸講習会・第1回 (6/2) 外国人10名

③手芸講習会・第2回 (1/28) 外国人21名

④梨もぎ体験 (9/4) 外国人17名

⑤書道体験 (午前クラス対象) (11/30) 外国人49名

⑥書道体験 (夜間クラス対象) (12/8) 外国人24名

⑦交流会 (卓球) (平成23年3/9) 外国人30名

(3) 日本語講座ボランティア登録事前研修

日本語講座ボランティア講師の登録を目的として対象に事前研修を開催した。

(日時) 平成22年11月13日、27日

12月4日、11日、18日

平成23年1月8日、15日、22日、29日

2月5日、12日、26日

各土曜日 午後2時~4時

(場所) 川崎市国際交流センター

(参加者) 12名

(4) 日本語講座ボランティア研修会の開催

協会登録の日本語講座ボランティアを対象に、ボランティア研修会を開催した。

- (日時) 平成 23 年 2 月 26 日 (土) 午前の部 10:00~12:00
 午後の部 13:00~15:00
- (講師) 吉田 聖子氏 (日本語教育学会 人材育成プロジェクト・コーディネーター、
 東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センターフェロー)
- (場所) 川崎市国際交流センター
- (内容) 「生活者としての外国人に対する日本語教育」エッセンスをとり入れた教え方について
- (参加者) 協会登録日本語講座ボランティア 24名

■国際理解講座

市民の国際理解を深めるため、日本語、外国語(英語、中国語)のほかダンスを通じての国際理解講座を開催した。

1 国際理解講座

(1)日本語による国際理解講座

2010年は、ラオス、ミャンマー、カンボジアと日本が国交を結んでから55周年であった。そこで日本ではあまりなじみのないラオス、ミャンマー、カンボジアをとりあげ、それらの国の出身の方に、それぞれの国について話していただき、日本との相違点を知り、国際理解を深めた。その国の代表的な飲み物の試飲と民族衣装の試着を行った。

- (期間) 平成22年11月23日(火・祝)、12月11日(土)、12月18日(土)
- (時間) 午後2時~3時半
- (会場) 国際交流センター2階 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11/23 (火・祝)	「ミャンマーの豊かな文化」 ミャンマーの概要と文化についてパワーポイント、映像で紹介。 ミャンマーのお茶の試飲とお茶受け(豆類)を試食。 希望者は、民族衣装を試着。	マヘーマー氏(ビルマ語講師、日本ミャンマー・カルチャーセンター所長)	29名
2	12/11 (土)	「ラオスの伝統儀式 ~お正月・結婚式~」 ラオスの概要とヴィエンシー氏自身の結婚式の映像を例に伝統儀式を紹介。 ラオスコーヒーと桑の葉茶を試飲。 希望者は、民族衣装を試着。	ケオクーンシー・ヴィエンシー氏(通訳・翻訳家)	26名
3	12/18 (土)	「カンボジアの子どもたちの今」 カンボジアの情勢をセタリン氏の経験から紹介。 レモングラスティーを試飲。 希望者には民族衣装を試着。	ペン・セタリン氏(東南アジア文化支援プロジェクト代表、カンボジア料理レストラン「アンコール・トム」オーナー)	24名

(2) 映画による国際理解講座

映像による視覚的な多文化共生への理解を促進するため、映画による国際理解講座を開催した。

川崎にある資源を活用し、日本映画学校卒業生である、ミャンマー出身のモンティンダン監督の制作映画「エイン」を上映し、外国人に対する日本人の偏見やコミュニケーションの大切さなどを外国人市民だけの問題としてではなく、日本社会の普遍的な問題として考える機会とした。

- (期間) 平成23年3月21日(月・祝)
 (時間) 午後2時～4時
 (会場) 国際交流センター・レセプションルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	3/21 (月・祝)	映画「エイン」 (日本映画学校卒業制作作品) (*エインとはミャンマー語で家・家族という意味) 映画を上映後、監督と出演者によるインタビュー、質疑応答を行った。	モンティンダン氏 (ミャンマー出身、日本映画学校卒業、映画監督)	80名

2 外国語による国際理解講座**(1) 英語による国際理解講座**

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。前半は、それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験に関し、講師が選んだテーマについて講義、後半は質疑応答と交流を行った。

- (期間) 平成22年5月30日(日)、6月20日(日)、7月25日(日)
 (時間) 午後2時～4時
 (会場) 国際交流センター2階 団体活動ルーム AB

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	5/30(日)	British Wedding and Funeral Customs” 「イギリスの冠婚葬祭」	Catherine Ushijima 氏 (イギリス出身、元長野県国際交流員)	51名
2	6/20(日)	“Outdoor Life in New Zealand” 「ニュージーランドでアウトドア」	Mark Blakely 氏 (ニュージーランド出身、語学学校講師)	51名
3	7/25(日)	“Canada Histories” 「カナダの今と昔」	Eric Busque 氏 (カナダ出身、語学学校講師、当協会国際理解教育支援講師)	51名

延べ 153名

(2) 中国語による国際理解講座

専門的知識や技能を持つ中国出身の国際交流協会登録ボランティアを講師に招き、中級レベル以上の中国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。

前半は、それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験に関し、講師が自身で作成した資料をもとに講義し、後半は中国文化の体験および質疑応答と交流を行う予定だった。

(期間) 平成23年3月5日(土)、3月12日(土)、3月19日(土)

(時間) 午後2時～4時

(会場) 国際交流センター2階 団体活動ルーム AB

開催日	内 容	講 師	受講者
3/5 (日)	中国から“家族”を考える ～映画「おくりびと」より～	そん しょうとく 孫 勝徳氏 大連出身 日本企業勤務	30名
3/12 (日)	水墨画を楽しむ 歴史と鑑賞の仕方 講師のパフォーマンスと体験	ちゃん どん 張 東氏 水墨画家、中国語講師	東日本大震災により 講座を中止した。
3/19 (日)	中国の茶文化を楽しむ ～プーアル茶を中心に～ 講師のパフォーマンスと体験	り みる 李 敏氏 上海出身 中国語講座講師	東日本大震災により 講座を中止した。

延べ 30名

3 国際文化理解講座（講座名「ダンスで国際文化理解」）

市民の多文化理解を深め、外国人市民との交流をはかるため、それぞれの国の歴史あるいは風土について学ぶとともに、ダンスを通じてその国の文化を体験した。

（期間） 平成23年2月5日（土）から3月5日（土）

（会場） 川崎市国際交流センター・ホール

（時間） 午前10時～12時

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	2/5（金） 2/12（金） 10:00～12:00	アルゼンチンタンゴ ・アルゼンチンの国紹介とタンゴの背景 ・ステップの講習後、曲に合わせてダンスと交流	RIE OGURA & DIEGO MALVICINO 氏	28名 20名
2	2/26（金） 3/5（金） 10:00～12:00	ブラジリアン・ダンス （アシェダンス） ・アシェダンスに至るまでのブラジルのダンスの歴史と、それにかかわりの深い音楽の歴史についての講義。 生バンド演奏によるダンスのワークショップ	実演とワークショップ： アンデルソン・ミヤザト氏 演奏と講義： マルキーニョス氏	22名 17名

延べ 87名

〈国際交流促進事業〉

■日本語スピーチコンテスト

川崎市内の大学や専門学校の留学生ならびに日本語講座の受講生を対象に、日本語スピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。また、交流会を開催し、出演者と一般聴衆、関係者との交流を深めた。

(期日) 平成23年2月19日(土) 午後1時～午後5時

(会場) 川崎市国際交流センター・ホール他

(内容) スピーチコンテスト、交流会

(主催等) 主催：財団法人 川崎市国際交流協会

後援：川崎市、川崎市教育委員会、川崎商工会議所

協賛：川崎ライオンズクラブ、創作集団にほんご

協力：東京衣裳きもの学院、In Unity2011

モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合

(対象) 日本語を母語としない来日5年以内の外国人で、市内の大学、専門学校の留学生、市民館等の日本語講座の受講生

(出場団体等) 9団体 15名

韓国 外語ビジネス専門学校

「言葉よりも大切なもの」

中国 にほんごワールド

「あまい麻婆豆腐」

ベトナム INTEX-V-NET 日本語クラブ

「日本語学習で困難なこと」

韓国 外語ビジネス専門学校

「人生のパートナーのを見つけ方」

インド 国際文化交流センター東京教育専門学院

「インドの結婚事情」

中国 LOGOS 国際学院

「この冬 寒くない」

スリランカ 日本語グループ「パピルス」

「私と学校」

韓国 興和日本語学院

「お願いがあります」

台湾 中原市民館

「電車からみた東京」

スペイン INTEX-V-NET 日本語クラブ

「私の日本の生活」

中国 興和日本語学院

「私の生きる道」

韓国 国際文化交流センター東京教育専門学院

「おばさんたちに愛の手を」

スリランカ 川崎市国際交流協会

「他に何かありませんか」

韓国 国際文化交流センター東京教育専門学院

「楽しくあいづちを打ちましょう」

中国 興和日本語学院

「文化の色彩」

(聴衆参加者) 200名

(ミニコンサート) 歌 出演 utako

■国際文化交流会

市民の国際理解を深めるため、音楽等を通じた国際文化交流会を開催した。

1 第16回クロコディロスコンサート

アメリカ・ハーバード大学男子学生によるアカペラコンサートを開催し、アメリカの音楽文化を通じて市民の国際理解を深めた。また、コンサート後、学生との交流会を実施した。

- (期日) 平成22年6月19日(土) 午後3時～
- (会場) 川崎市国際交流センター・ホール
- (内容) 男声アカペラコンサート
- (入場料) 2,000円(当日2,500円) 小・中・高校生1,000円 大学生1,500円
- (参加者) 200名

2 ときめき・世界の音楽シリーズ「魅惑の音楽紀行～アジアへの旅～」

以下の通り、コンサートを開催し、音楽を通じて市民の国際理解を深めた。また、コンサート終了後、出演者と参加者の意見交換等を行い国際文化交流を深めた。

(1) インドネシア・ジャワ島の音楽・舞踊・影絵芝居

- (期日) 平成22年9月5日(日) 午後2時～3時半
- (会場) 川崎市国際交流センター・ホール
- (後援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
- (内容) 総勢9名ガムランの演奏、ジャワ舞踊、影絵芝居(インドの叙事詩「マハーバーラタ」より)
- (出演者) スミリアル、ガムラングループ「ランバンサリ」他
- (入場料) 1,500円(当日券2,000円) シリーズ券4,000円
- (参加者) 120名

(2) モンゴル馬頭琴

- (期日) 平成22年9月23日(木・祝) 午後2時～3時半
- (会場) 川崎市国際交流センター・ホール
- (後援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
- (内容) 馬頭琴の演奏、ホーミー(モンゴルの歌唱法で喉歌のひとつ)他
- (出演者) センジャー(馬頭琴)、沓澤千枝子(キーボード)、武藤智史(パーカッション)、ウルゲン(ホーミー)、ビリグト(トプシュール-二弦の楽器)、オインガ(歌)、チュルモン(馬頭琴)、ソヤ(馬頭琴)
- (入場料) 1,500円(当日券2,000円)
- (参加者) 90名

(2) タイの民族楽器演奏と舞踊

- (期日) 平成22年10月30日(土) 午後2時～3時半
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール
(後援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
(内容) タイの民族楽器演奏とタイ舞踊
(出演者) あどうんバンド
(入場料) 1,500円(当日券2,000円)
(参加者) 50名

■ その他（センター施設環境促進事業）

1 川崎市国際交流センター活用企画検討委員会の開催

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、「川崎市国際交流センター活用企画検討委員会」を開催し、協議を行った。

- (期日) 平成23年2月10日(木)
(内容) ○報告事項
- ・川崎市国際交流センター指定管理者について
(指定管理期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日)
 - ・川崎市国際交流センターの利用に関するアンケート結果について
 - ・図書・資料室の利用促進に関する取組について
 - ・その他
- 議事案件
- ・川崎市国際交流センターの活用促進について
- その他連絡事項
- ・川崎市名誉国際親善大使就任記念事業等について(中澤弘氏、ライナー・キューヒル氏の2名就任)
- キルギス共和国との交流5周年記念青少年事業について
○モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合との連携事業について

2 センター施設の改修、環境整備等

利用者アンケートや要望・苦情に対応するため、以下の通り、川崎市国際交流センター内の改修ならびに施設設備の改善及び備品の買い替え等を行った。

(1) 施設の改修

- ① 特別会議室玄関前等外壁の防水工事

外壁タイルの剥離を修理し、外壁の防水性を維持するための工事を行った。

② イベント広場照明取換え工事

イベント広場内経年劣化により照明器具の傷みが激しいため、入替えを行った。

③ 茶室雨漏り修繕工事

茶室小間への雨漏りのため、屋根及び柱部分の板金、防水工事を行った。

④ ホール音響設備修繕工事

ホール音響卓、MDデッキの交換を行った。

⑤ 照明管球類取換え工事

ホール照明の蛍光灯、ボーダーライト用ハロゲンランプ、レクリエーションルーム照明の水銀灯の一斉交換を行った。

⑥ 特別会議室修繕工事

特別会議室の電動スクリーン修理、音響装置アンプ取換えを行った。

⑦ 茶室修繕工事

茶室雨漏り部分の京壁の修繕を行った。

⑧ 茶室竹垣修繕工事

茶室街角広場側竹垣等取換えを行った。

⑨ 東日本大震災による多目的広場地盤沈下復旧工事

地震により多目的広場の一部が陥没し、排水柵、排水管が損傷したため、修繕を行った。

(2) 施設的环境整備等

センター施設利用者のため、快適な施設整備を図った。

① 料理室設備（冷蔵庫、レンジ、給湯器）、遮光カーテンの取替え

② 第4、5会議室遮光カーテンの取替え

③ 交流サロン椅子の修繕（座面、背面の布地張替え）

④ 来館者用インターネット検索用パソコンの取換え

⑤ 茶室用物置の設置

⑥ 施設案内表示の改善

(3) パンフレット作成

川崎市国際交流センターの英語版施設案内（改訂版）の作成を行った。

3 市民共同おひさま発電所の見学会

(1) 経過等

平成20年8月に国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。

これは、地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となって立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金とグリーン電力基金からの助成金及び a p b a n k からの融資によって、市民自らの手により設置し、川崎市に寄付したものである。

今後は川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、また、センターを訪れる外国人をはじめ多くの皆さまに、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続して発信していく。

(2) 設備の概要

太陽光発電（合計出力）	6. 25 kW
内訳 国際交流センター陸屋根設置分	4. 32 kW
プロムナード上部設置部分	1. 93 kW
事業費 約850万円	
内訳 寄付金	150万円
グリーン電力基金	700万円

(3) 主な見学者等

神奈川県環境科学センター、富川市長期発展計画実務企画団（東日本大震災により見学中止）、（社）神奈川県宅地建物取引業協会会報誌に掲載

〈施設運営及び維持管理業務〉

■ 国際交流センターの管理運営

(1) 統括業務

○施設の運営及び維持管理業務を円滑に行うため、業務間の調整を行い、職員への教育・指導を行った。

(2) 施設利用受付及び案内業務

○来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

○国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

(3) 施設利用促進業務

○ホームページならびに地域住民への回覧、チラシ等による情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。

○国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業開催の利便性などについて説明し、施設利用促進を図った。

○随時、施設見学を受けて市民への利用促進を図った。

(4) 図書・資料室管理業務

○一般図書の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び分類や、本の装備と配架などの作業を速やかに行い、利用者へ最新の情報提供を行った。

○小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、細やかなサービスの提供を行った。

○利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を毎月発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。発行部数250部で近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。

○国際交流センター図書・資料室としての蔵書の特性を出すために、英語のマンガやフィルムコミックを120冊購入した。これらを合わせた新刊299冊を購入し、幅広い年代層の利用者に提供した。

(5) 施設・設備の維持管理及び補修業務

○国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。

○中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。

○施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な補修を実施した。

○施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

(6) 舞台及びAV機器等維持管理業務

○市民文化の育成と国際文化交流の場とすべく、利用者に対し機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置ならびに機器類の維持管理を行った。

(7) 施設警備業務

○宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

(8) 駐車場管理業務

○駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。

○老朽化した駐車場発券機・精算機の入替を実施した。

(9) 設備保守点検業務

○施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

(10) 施設環境衛生管理業務

○建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

○空気環境測定業務 年6回（偶数月）

○飲料水水質検査 年2回（3月・9月） 全項目（53種類）

○害虫駆除消毒 年2回（3月・9月）

○レジオネラ症対策（空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施）

(11) 施設清掃業務

○施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

○施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

○フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

(12) 植栽維持管理業務

○施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。

○イベント広場などの庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場としての環境維持に努めた。

○茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

■ 利用実績

(1) 平成22年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

4月	14,075人
5月	14,863人
6月	14,127人
7月	30,542人
8月	13,231人
9月	14,353人
10月	16,807人
11月	17,949人
12月	15,547人
1月	14,544人
2月	15,691人
3月	11,491人
合計	193,220人

※月別の来館者数は、施設利用者、一般来館者、図書・資料室利用者、インターネット利用者、各種講座・イベント等参加者の合計です。

(2) 川崎市国際交流センター施設利用状況（年間開館日数：340日）

施設名	利用コマ数	稼働率%	施設名	利用コマ数	稼働率%
ホール(264)	688	67.5	特別会議室(28)	39	3.8
レセプションルーム	622	61.0	特別応接室(8)	68	6.7
会議室(第1)(36)	527	51.7	料理室(24)	185	18.1
会議室(第2)(24)	636	62.4	交流サロン(30)	795	77.9
会議室(第3)(24)	576	56.5	茶室	247	24.2
会議室(第4)(30)	550	53.9	レクリエーションルーム	904	88.6
会議室(第5)(30)	540	52.9			
会議室(第6)(18)	819	80.3			
会議室(第7和室)(10)	680	66.7			

(注) 1. ()は定員

2. 利用コマ数は、利用区分（午前、午後、夜間）合計の実利用数

3. 稼働率は、小数点以下2桁を四捨五入

※申し込みは、川崎市公共施設利用予約システム（ふれあいネット）による申し込み及び抽選。

但し、ホール、レセプションルーム、特別会議室、特別応接室は直接センターの窓口で受付。